



吉子川



令和7年2月5日(水)
 学校だよりNO. 67
 中島村立吉子川小学校
 発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

【よしコップ】

吉子川小学校
 のあやめの花に
 住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの
 十か条 (2月)

説明は筋道立てて伝わるように
 相手意識でみがく表現力

◇ 効果てきめん! ~元気いっぱいの1月でした!~ ◇

養護教諭の福田先生は、毎月保健室利用状況について報告していただきます。1月の報告を確認すると、今までとはまったく違ったデータで驚きました。12月と比較してみたいと思います。



保健室の1日の利用数 12月 3.4人
 1月 1.7人 **なんと半分になりました!**



早起き
 早寝
 朝ごはん!

1月は、11月~12月猛威を振るっていた感染症も激減!欠席者数も少ない1か月になりました。

保護者の皆様には、「保健だより」を参考にさせていただきながら、「早寝・早起き・朝ご飯」「感染症対策」など、子どもたちの健康を守る取り組みをしていただきました。

この結果は、まず第一にその効果があつてのことだと、心より御礼申し上げます。

そして、もう一つ、心当たりがあるのです。

それは、毎朝出勤したときに学校支援員の渡辺恵先生が

おっしゃる言葉にありました。

「校長先生!毎朝、吉子川小学校に来ると元気になります!子どもたちの挨拶すごいですね」

この言葉です。1月は、吉子川小学校の挨拶強化月間でした。

あいての目を見て
いつでも だれにでも
さきに
つづけて なんども



「あ」「い」「さ」「つ」の頭文字を基に、4つの目標を立てて取り組みました。そして、毎日学級ごとに振り返り、9割以上の子どもができていたら、よしコップシールを貼りました。1か月で驚くほど上手に挨拶できるようになりました。

すると、不思議なことに学校の雰囲気までもが、明るく元気になっていきました。

よく、「**声を出すと元気が出る、力が出る**」と言います。確かにテニスプレーヤーの中には、サーブやスマッシュのときに大きな声を出す人がいます。私も歌を歌うと元気になります。リラックスもできます。なぜなら、声を出すと腹式呼吸になり、副交感神経をオンにして自律神経のバランスを整えるからだそうです。

声を出すことは、心にも体にもよいことなのだと感じます。挨拶も返事も、音読も歌も、かけ声も声援も、人間がもつ素晴らしい力の源なのですね。元気の源なのですね。だからこそ、たくさん自分の気持ちをお話できる子どもに、自分の考えを自分で決めて伝えることができる子どもに育てていきたいと思ひます。ぜひ、ご家庭でも学校の話をとくさん聴いてあげてください。褒めたり励ましたりしてあげてください。よろしくお祈りします!